

2022 年 D1GP 参戦報告書

2022 GRAN TURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Rd.4 EBISU DRIFT

2022/8/20-21

延動員数 : 3,458 名(関係者含む) (2 日間合計)

YouTube 放送 <https://www.youtube.com/D1GPMOVIECHANNEL>



第4/5戦は、エビスサーキット西コースで2年ぶりの開催となりました。第2第3ゾーンが変更されましたが、コースは前回と同じレイアウトです。第3戦終了時点で、横井はシリーズランキングTOPを維持し、末永が3位でエビス入りしました。次戦オートポリス、そして最終戦のTBNは、また、ここエビスサーキット西となり、バンクコースをお披露目の開催で決定しました。3年ぶりシリーズ獲得を目指してのシーズン折り返しの大会となりました。



8/20 (Sat) **Rd.1 単走予選** 最高 22.0℃ 最低 12.1℃ 路面コンディション：ドライ

横井・末永ともに、F タイヤ 1.2 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm²

末永の1本目 S1のゾーンに向けて、振り出しすぎてしまい、S3の得点に影響してしまって得点が入らず1本目は失敗となってしまいました。2本目2を外してしまい、-1ポイント減点されて97.64となり、2本目はS3のアクセルの入りが遅くなってしまい、S3は得点が伸びませんでした。S1からS5の大きなミスもなく、S1 25.08 S2 24.26 S3 14.15 S4 14.84 S5 19.39で合計97.72で11位で追走トーナメント進出を決めました。



末永正雄 No.46 単走予選 11位通過

横井の1本目第1ゾーンを通過ですが、侵入をミスしその後のライン取りが修正できず、S2でコースアウトしさらに、第3ゾーンを通過することができず減点されてしまい、合計95.21となった2本目、侵入の鋭い出しから、S1S2とアクセルオンできるラインを通過し、S3S5でゾーン通過の為、少しアクセルで調整してしまいましたが、S1 25.20 S2 25.25 S3 14.68 S4 14.95 S5 19.37で単走優勝する事ができました。



横井昌志 No.70 単走予選 優勝

追走トーナメント Rd.4 ベスト 16 横井昌志 VS 植尾選手 (VARINO TIRE)

F タイヤ 1.2 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm² 新品タイヤ使用

先行での1本目、単走の勢いのまま、鋭い侵入とスピードで、植尾選手がつられて、S3でコースアウトしスピン。99対78で大きなアドバンテージをとって2本目、植尾選手が果敢に先行で攻めた走りでしたが大きなコースアウトであきらめてしまい、181対131で無難にベスト8進出を決めました。



横井選手 No.46 ベスト16

追走トーナメント Rd.4 ベスト 16 末永正雄 VS 齋藤選手 (YOKOHAMA TIRE)

F タイヤ 1.1 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm² 中古タイヤ使用

後追いスタートの1本目 S3に入るラインが異なる車両との対戦で、うまく距離を保ちつつ後追いポイントを取れるポイントを外さず、99対96で少ないポイントながら取りました。入替後の2本目、1本目と同じS3でラインが異なるところで、齋藤選手が大きな戻りで勝負あり、合計ポイント97対94で見事にベスト8進出を決めました。



末永正雄 No.46 ベスト16

追走トーナメント Rd.4 ベスト 8 横井昌志 VS 岩井選手（VITOUR TIRE）

F タイヤ 1.2 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm² 新品タイヤ使用

先行スタートの1本目、ミスなく、先行を走りで98の得点に対して、岩井選手はついてくるができず、98対97で先行でアドバンテージを取りました。入替の2本目後半でポイントをとる流れで攻めていき、後追いポイント6を取り、101対96となり、合計199対193でベスト4進出を決めました。



横井昌志 No.70 ベスト 8

追走トーナメント Rd.4 ベスト 8 末永正雄 VS 松山選手（TOYO TIRE）

F タイヤ 1.2 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm² 新品タイヤ使用

後追いスタートの1本目、ベスト16と同じスーブラの松山選手とのラインは難しく、煙の中うまくついていき、さらに松山選手のフライングもあり、98.5対94でアドバンテージを取りました。2本目先行でのDOSS得点が伸びず、S3でプッシングされてアームが曲がった影響か、第3ゾーンも追加できず悔しい敗退となってしまいました。



末永正雄 No.46 ベスト 8

追走トーナメント Rd.4 ベスト4 横井昌志 VS 目桑選手 (VALINO TIRE)

F タイヤ 1.2 kg/cm² R タイヤ 0.8 kg/cm² 新品タイヤ使用

ウォームアップエリアで、突然オルタネーターの発電が止まってしまい、スタートラインで着くことができず、予期せぬリタイアでベスト4で敗退となってしまいました。

Rd.4 最終結果

追走トーナメント結果 (D1HP 引用)



2022年 D1GP Rd.4 最終結果

末永正雄 Rd.4 単走 11位 追走 7位

横井昌志 Rd.4 単走 優勝 追走 3位

第4戦は、予期せぬリタイアで、横井選手を走らす事ができず、残念な報告となってしまいました。チーム内の再構築と準備を怠らず、次戦開催のオートボリス戦に向けて準備していきます。

NANKANG TIRE DRIFT TEAM D-MAX

チーム代表 濱川拓也

ドライバー 横井昌志

ドライバー 末永正雄